

# 「加法・減法（正負の数）」 計算のコツをわかりやすく解説

## 加法・減法とは

ザックリいうと

加法とは…「たし算」のこと  
減法とは…「ひき算」のこと

小学校までは「たし算」「ひき算」と呼んでいたものを、中学数学からは「加法」「減法」と呼ぶだけだというイメージでいいよ。

「答え」の呼び方も変わる

答えも、小学校までは「たし算の答え」「ひき算の答え」と表していたけれど、  
中学数学からは

加法の結果（答えのこと）…「和」  
減法の結果…「差」

と呼ぶよ。



## なぜ ( ) を使うの？

## ザックリいうと

中学数学では正負の数 (+ と -) が登場するので、たし算の「+」マークやひき算の「-」マークとごっちゃになっちゃうから！

加法と減法の学習では、次のような式の書き方が出てくるね。

$$(+3) + (+2) =$$

いままでは「 $3+2$ 」で良かったのに、どうして ( ) でくくったり、プラスマークを書いたりするんだろう？

だって「 $(+3) + (+2)$ 」は、結局は「 $3+2$ 」と同じことをあらわしているんだよね。では、なぜ ( ) や「+」マークを数字の前につけるのかというと、中学では正 (+) と負 (-) の世界が登場しているから。

数字の前に「+」や「-」マーク (符号マーク) をつけるのは、その数が「正の数」なのか、「負の数」なのかをハッキリさせるためだね。

( ) はなんのためかということ、たとえば  $(+3) + (+2)$  はたまたま正の数だけだから、( ) や符号マークをなくしてしまっても「 $3+2$ 」で意味が通じるよね。

でも、もし負の数が含まれる式だったらどうなるかな？

たとえば  $+3$  に、 $-2$  を足すという場合を考えてみよう。

これを ( ) と符号マークを使わないで式にすると…

$$3+ -2$$

これじゃあ、正負を表すためのマークなのか、それとも「加法」であることを表す + マークなのか区別がつけづらいよね。

だから ( ) で区切って、ハッキリさせているんだね。



## 同符号の2数の和

さて、ではいよいよ中学数学の「加法・減法」についてくわしく解説していくよ。

「加法・減法」はかんたんに言うと「たし算・ひき算」のことだったね。

中学数学では何が変わってくるかという、足したり引かれたりする数が

「正 (+) の数同士」だったり

「負 (-) の数同士」だったり

さらには「正と負の数の組み合わせ」だったりするんだ。

どのパターンかによって、計算の方法が変わるんだよ。

「同符号」というのは、「符号が同じ」ということだよね。

つまり、「正の数同士」とか「負の数同士」のこと。

それに対して「異符号」は、「符号が異なる」ということだから、「正と負の数の組み合わせ」ということだね。

まずは、符号が同じである数の加法について解説するよ。

### 教科書の説明

同符号の2数の和の結果は  
符号は「共通の符号」になり、  
絶対値は「2数の絶対値の和」になる

ここで、これから先の学習をわかりやすくするために

「正 (+)」を「天使チーム」

「負 (-)」を「悪魔チーム」

とイメージしてみよう。

数字（絶対値）は強さを表すとイメージしてね。





つまり、「+3」は、強さが「3」の天使のこと。「+6」は強さが「6」の天使ということになるね。

「-4」は強さが「4」の悪魔。「-6」は強さが「6」の悪魔。

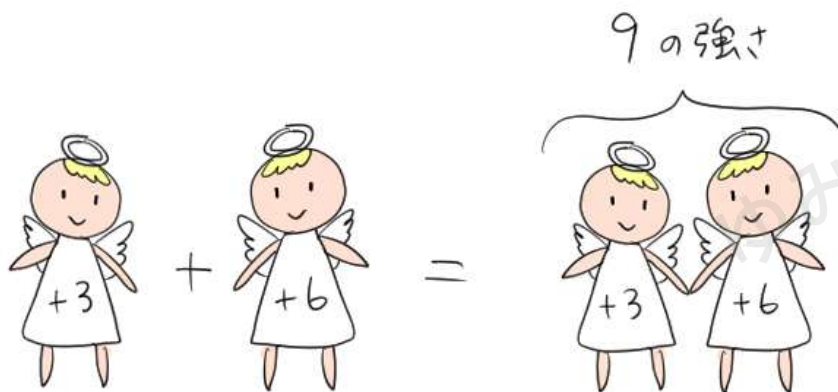
「符号が同じ数の加法」とは、つまり「同じ天使同士が協力しあう」「同じ悪魔同士が協力しあう」ということになるんだ。

同じ仲間同士なんだから、強さは合計されるよね。

たとえば、

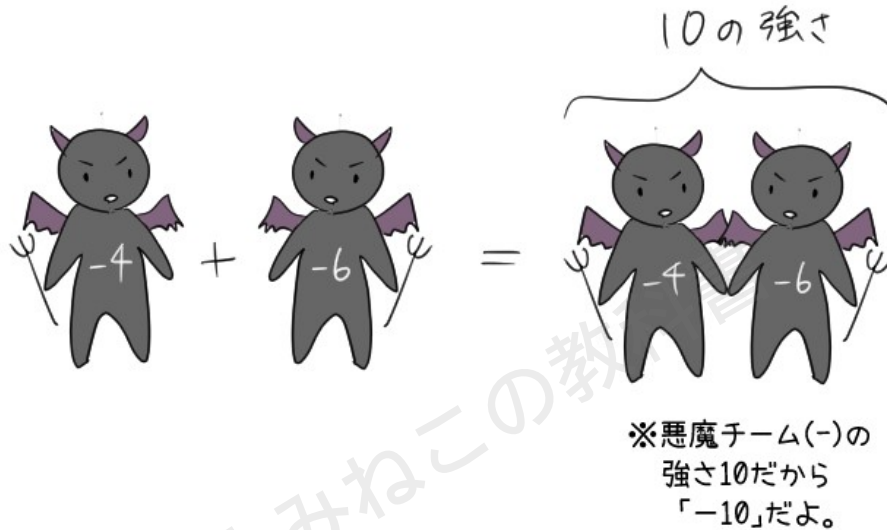
$$(+3) + (+6)$$

だったら、2人の天使の強さが合計されて、天使チームの強さは「+9」になるよ。



$$(-4) + (-6)$$

だったら、2人の悪魔の強さが合計されて、悪魔チームの強さは「-10」になるね。



つまり教科書が説明している

「符号は「共通の符号」になり」とは…

同じ仲間同士が協力するんだから、「結果もそのチームのままだよ」ということ

「絶対値は『2数の絶対値の和』になる」とは…

仲間同士が協力するんだから、「強さは2人の強さの合計になる」

ということを言っているんだね。



## 異符号の2数の和

では、こんどは「異符号」の2数の和の場合はどうなるのかを解説するよ。

### 教科書の説明

異符号の2数の和の結果は  
符号は「絶対値の大きい数の符号」になり、  
絶対値は「絶対値の大きいほうから小さいほうを引いた差」になる

異符号の2数とは、「正と負の数」つまり、「天使と悪魔の組み合わせ」ということ。  
敵同士だから、協力するのではなくて戦うことになるよ。

例えば「強さ3の天使(+3)」と「強さ6の悪魔(-6)」が戦ったらどうなるかな？  
そう、悪魔が勝つよね。そして強さは打ち消し合って、悪魔の強さが3になる。



これを式で表すと

$$(+3) + (-6) = (-3)$$

になるということだね！



## 異符号の2数の和の計算のコツ

戦いの結果が「正（天使）」の勝ちになるか「負（悪魔）」の勝ちになるかは、どちらの強さ（絶対値）が大きいかわかるよね。

そして戦ったあとに残ったチームの強さ（答え）は、絶対値が大きいほうから小さいほうを引いた差になるよね。

強さ＝絶対値だから、  
「3」と「6」ではどっちが強いかすぐわかる

絶対値の大きい「6」が勝つ  
→答え（結果）は悪魔（負の数）になる！



### 異符号の2数の和の計算の考え方

- 1.どっちが勝つかを考える（絶対値が大きいほうが勝つ）  
→結果は絶対値の大きい方の符号になる（符号が決まる）
- 2.戦いの後、勝った方はどのくらい強さが残るか？（絶対値大きい方から小さい方をひく）  
→結果は絶対値のおおきいほうから小さい方を引いた差になる



## 正負の数「加法・減法」まとめ

## まとめ

- 加法とは「たし算」のこと
- 加法の結果は「和」である
- 減法とは「引き算」のこと
- 減法の結果は「差」である
- 【同符号の2数の和】  
符号：共通の符号  
絶対値：2数の絶対値の和
- 【異符号の2数の和】  
符号：絶対値の大きい数の符号  
絶対値：絶対値の大きいほうから小さいほうをひいた差

